

おだがいさま

odagaisama

第 33 号
平成 23 年
3 月 15 日発行

世代間交流でやさしい灯り



平成22年度
赤い羽根共同募金実績報告(P2)

鶴岡市中央児童館
こんにちは赤ちゃん(P3)

情報掲示板(P4)



藤島地域では、中心街の整備が進められている今、地域資源を活用し賑わいを作り出すことを目的に、『藤島城址雪灯籠まつり』を実施しており、今年で3回目となります。

雪灯籠を作るための事前準備として、実行委員と高校生ボランティアが2月6日(日)に型枠を作成しておき、2月11日(祝)の祭り当日、藤島城址周辺に地元の小・中・高校生から一般の方までさまざまな世代の参加者が集い、全17基の雪灯籠を作りあげました。

また当日は、ふれあいセンターを会場に、天ぷら油を利用したエコキャンドルづくりや餅のふるまいも行われたほか、藤島福祉センターのボランティアが除雪を行って会場の整備を行うなど、市民の手で祭りを盛り上げていました。

平成22年度 赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました。



昨年10月1日から全国一斉に展開されました「共同募金運動」に、ご賛同下さいました市民の皆様をはじめ、町内会長、区長、自治会長、民生児童委員など多くの方々のあたかいご支援により、大変大きな実績を収めさせていただきました。

ご協力いただきました皆様方に心より感謝申し上げます。平成22年度、皆様よりお寄せいただきました募金の実績額と使い道についてお知らせいたします。

赤い羽根募金

実績額：15,189,411円

使い道：山形県共同募金会に全額送金した後、平成23年度に県内の福祉施設、NPO法人、ボランティア団体、社会福祉協議会が行う福祉事業などのために配分されます。

鶴岡市社会福祉協議会では、お茶のみサロンや、会食・配食交流など高齢者の生きがいつくり活動や福祉学習事業などのために活用させていただきます。

歳末たすけあい募金

実績額：9,663,616円

使い道：鶴岡市内の経済的に支援を必要としている世帯や児童養護施設の入所児童・生徒が、地域で安心して新たな年を迎えられるよう、平成22年12月中に配分させていただきました。



ありがとうメッセージをご紹介します！

～鶴岡市第二学区社会福祉協議会 様より～

ご寄付いただきました皆様、誠にありがとうございました。

毎年、当社協で実施しています「健康福祉まつり」開催のために活用させていただきました。今年は配分金のおかげで、充実した内容で行うことができました。

なかでもオカリナコンサートは高齢者の方にも好評で、紙芝居は子ども達から大変喜ばれました。

今後も町内会での戸別募金や街頭募金も頑張って協力したいと思います。



鶴岡市中央児童館（ひろっぴあ） 中高生と赤ちゃんのふれあい交流事業

こんにちは！赤ちゃん

鶴岡市中央児童館では、中学生や高校生に命の重みや素晴らしさ、子育ての大切さを伝えるために「中高生と赤ちゃんのふれあい交流事業」を年2回実施しています。去る2月6日（日）には今年度2回目となるふれあい交流事業が行われ、高校生10名が参加しました。

この事業では、市の保健師さんから講義を受けたり、妊娠体験ジャケツトを装着しての妊婦体験や乳児人形を使って抱き方などを学んだりするだけでなく、1歳までの赤ちゃんとそのお母さんから参加・協力をいただいて、実際に赤ちゃんともふれあうことができます。今回は生後3ヶ月～11ヶ月の赤ちゃんが参加してくれました。

当日は、お母さん達が高校生に赤ちゃんのあやし方やオムツ交換の仕方などを教えながら、世代を越えた交流の場にもなり、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

赤ちゃんともふれあう前に、
人形で抱っこ練習



参加者には助産師や保育士を目指す
高校生もいました

多くの人と関わることは赤ちゃんの
発達にも良いとされています！



高校生の声

この経験を
将来に役立てたい!!

赤ちゃんがかわいかった♡

赤ちゃんは泣くことも
成長の証だと分かった!

参加者から
お話を聞きました!



お母さんの声

お姉ちゃん達から
遊んでもらい、子どもにとっても
良い経験になった

高校生から
元気をもらえた♪

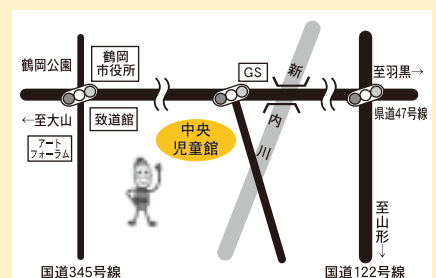
他の赤ちゃんも
見るのができ
刺激になった

●●● 地域の子ども達と保護者を応援しています! ●●●

鶴岡市中央児童館は、遊びを通して子ども達の健やかな成長と、家庭や地域の子育てを支援するための自由来館型の児童館です。幼児やその保護者を対象としたサークル活動や、子ども向けの行事のほか、「子ども家庭相談」として専門の相談員が子どもに関わる相談を行っています。

また、屋外は大型遊具や親水広場を備えた児童遊園となっています。

- 利用対象 子ども及びその保護者（乳幼児は保護者と一緒に）
- 利用日時 祝祭日、年末年始を除く毎日 午前9時～午後5時
- 利用料金 無料
- 問 合 せ 鶴岡市中央児童館 苗津町1-1（☎24-4608 ※子ども家庭相談の電話も同じ）



情報掲示板

鶴岡地区福祉バス抽選会 (平成23年7月～平成24年3月分) 事前申請受付のお知らせ

鶴岡地区福祉バス 抽選会のための事前申請を次の日程で行います。

- 対象期間 期間ごと2回に分けて抽選を行います。
①平成23年7月1日～平成23年10月31日分
②平成23年11月1日～平成24年3月31日分
※期間ごと1団体1回の予約ができます
※予約申請書の備考欄に必ず希望月を記入してご提出をお願いします
- 申請期間 平成23年4月25日(月)～5月13日(金)まで
- 申込み/問合せ
申請書は鶴岡福祉センター
(市総合保健福祉センターにこ♥ふる2階)
に準備しております。☎24-0053

「ふれあい福祉相談」のご案内

鶴岡市社会福祉協議会では、失業や病気などにより一時的な生活費が必要になった世帯に対して、たすけあい資金・生活福祉資金(修学資金・離職者支援資金など)の貸付制度の利用に関する相談や、高齢者・障がい者の日常的な金銭管理(福祉サービス利用援助事業)に関する相談などに応じています。

また、併せて毎月無料の弁護士相談(要予約)を実施しています。

常設相談

- 日 時 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
8:30～17:15

弁護士相談(無料・要予約)

- 日 時 下記の日程 10:00～15:00
4月13日(※) 朝日福祉センター 10月12日(※) 鶴岡福祉センター
5月18日(※) 鶴岡福祉センター 10月19日(※) 朝日福祉センター
6月15日(※) 鶴引福祉センター 11月16日(※) 鶴引福祉センター
7月13日(※) 藤島福祉センター 12月14日(※) 鶴岡福祉センター
7月20日(※) 羽黒福祉センター 1月18日(※) 藤島福祉センター
8月17日(※) 鶴岡福祉センター 2月15日(※) 羽黒福祉センター
9月14日(※) 温海福祉センター 3月14日(※) 鶴岡福祉センター
※予約は実施日の1か月前から受付可
※日時・会場変更の場合は別途広報「つるおか」でお知らせします

- 問合せ 最寄りの各福祉センター(このページ下段)

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成22年12月21日から平成23年2月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

- ◎鶴岡福祉センター
・真如苑 様 200,000円
・ルネサス山形セミコンダクタ株 様
カレンダー160部
・池田 春子 様 毛糸の帽子18個
・日本基督教団鶴岡教会イヴの集い 様
7,000円
・鶴岡東高等学校生徒会 様 車いす1台
・黄金婦人会 様 45,650円
・山形県庄内郵便局長夫人会 様
使用済切手、プルタブ120kg

◎藤島福祉センター

- ・株大沼工務店 様
タオル51枚、10,000円

◎羽黒福祉センター

- ・匿名 28,771円
・三山大愛教会 神林千祥 様 500,000円
・大澤 力 様 帽子・ワッペン255個

◎鶴引福祉センター

- ・菅原 弘子 様 チャイルドシート2台
・稲泉 エミ 様 10,000円

◎温海福祉センター

- ・株クアボリス温海しゃりん 様 30,000円
・佐藤 政剛 様 100,000円
・榎本 定夫 様 50,000円
・株萬国屋 代表取締役社長 石田 照雄様
100,000円

★地域福祉センターなえづへ

- ・株産直あぐり 様 りんご3箱
・FORGE&ZEST 様 202,560円
・斎藤 勝 様
麻雀パイ・オセロゲームセット

★鶴岡市ゆうあいプラザへ

- ・株産直あぐり 様 りんご3箱
・成澤農園 様 りんご10箱
・梶原 喜吉 様 洗濯石けん8箱

★デイサービスセンターふれあいへ

- ・山口 武史 様 50,000円

★高齢者福祉センターおおよまへ

- ・大山小学校 様 11,000円
・山口 武史 様 50,000円、紙おむつ2箱
・高橋 さかゑ 様
加湿器1台、カラーボックス1個、タオル類

★デイサービスセンターおおよまへ

- ・株菅原工務店 様 踏み台1台
・長谷川 浩一 様 甘酒30升(400人分)

★鶴引すこやかセンターへ

- ・株産直あぐり 様
フルーツジュース11本、りんご2箱

★くしびきデイサービスセンターへ

- ・本間 徳世 様 手縫い雑巾40枚

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・五十嵐 覚 様
フェイスタオル19枚、ハンドタオル7枚

★もみじが丘へ

- ・マックスバリュ 様 菓子・飲料
・株産直あぐり 様 りんご1箱

「節分」

節分と言えば、豆まき・青おに・赤おにが連想されますが、近年は恵方巻のイメージが高まってきたように感じられます。

恵方巻の由来は、はつきりとは分かっていないようですが、もともとは大阪周辺で、江戸時代末期く明治時代初期の頃から『商売繁盛』を祈って恵方巻きを食べる習慣が始まったようです。

私の勤める障がい者支援施設では、今年も、自分で作った恵方巻きを『南南東』に向い無言で食べ、『どうぞ今年も良い年になりますように』と、利用者も職員もみんなで願い事を唱え続けました。

(K・E)

◎ほっとコラム

おだがいさま

第33号

平成23年3月15日発行

発行部数 49,300部

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市泉町5番30号(にこ♥ふる2階)

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

鶴引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。